ようこそ三浦太鼓店へ!



新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

今回は新年号ということで、三浦太鼓店一同で表紙を飾らせていただきました。 今年も1年おなじみのメンバー4人で頑張ってまいります。

五代目!六代目!慶さん!史帆!は社内での呼び名です!! お・も・て・な・しスマイル (^_^) で、今年も皆様のご来店を心よりお待ち申し上げております。 皆様どうぞ、今年も宜しくお願い致します。

和太鼓はいきている

~伝統を守り、伝統を創る~

太鼓店新聞

vol. 5 2014年1月

では 会にを手り

原を使って仕上げる三浦の太鼓。当店では普ながらの原糸にこだわっています!

麻糸づくり担当の史帆です!(^^)!今回の pick up は麻糸です! 太鼓の皮を縫う際に、昔は多くの太鼓やさんで麻の繊維から 作られる麻糸が使われていました。しかし、最近では糸にできるような良質な麻を手に入れることが難しくなってること、 糸づくりに手間が掛かること等から多くの太鼓屋さんで市販の糸が使われています。そんな中、当店は今でも昔ながらの麻

糸にこだわり続けています。



みなさん、そもそも麻ってご存知ですか??

麻とは、クワ科の1年草で表皮の内側にある柔繊維、または葉茎から採取。 特徴としては、水に濡れることで強度が強くなり、引っ張りに強いです!!







繊維から糸にすることは難しく、手間と時間のかかる作業ですが、強度が強く切れにくい特性を活かして、 当店では締太鼓の皮を縫う糸として麻糸を使用します!

この地域特有の締太皷にも欠かせない庶糸!

当店のある愛知県三河地方では、江戸時代中期以降、 祭囃子で使用されるようになった小〆(コジメ)太鼓と いう特殊な締太鼓があります。弾けるような高い音が 特徴で、普通の締太鼓とは違い、皮を極限まで締め上 げます。皮をパンパンに張っているので普通の糸で縫 っていくと力に耐えきれず、糸が切れてしまいます。 そこで、登場するのが麻糸です。右の写真のように 一目一目しっかりより直しながら縫っていくのです。





一目一目糸をよりなから、しっかりと強い上げていく



麻糸づくりをはじめて1年半まだまだ納得いくものはできません。 細かい繊維から作るので太さや長さ、よりの強さなど毎回微妙に仕上 がりが違い五代目、六代目に使いにくいとお叱りをうけています(>_<) それでもくじけず少しでもよい糸を作りたいとがんばっております。 麻糸づくりを任せてもらえる中で、お客様により良いものを使ってい ただきたいと思う気持ち、伝統を守るということの大切さを強く感じ るようになりました。

最高の仕上がりを目指して、日々精進してまいります!!

伝統を創る

前回に引き続き、担ぎ桶の音に迫ります!!!

自分自身と常に密着しながら演奏する担ぎ桶太鼓。だからこそ、当店では太鼓と自分が1つになれるような音を 追求したい!!そんな想いを常に強く持ち担ぎ桶太鼓の研究を続けております!

ということで、前回に引き続き担ぎ桶太鼓の音について研究開発の途中経過です(^-^)



前回注目したストレートな桶胴と膨らみをつけた桶胴については、 残念ながら明らかな音の違いを見い出すことは出来ませんでした。 違いが出るであろうと強い期待を込めていたのでがっかり...(;;) そんな簡単に答えが出るわけないですよね~(笑) 頭を抱える六代目...六代目の熱い闘争心は消えるどころか、 さらに燃え上がります!!

よっしゃ!次は胴の材料だ!!!

そこで、次に注目してみたのは胴の材料!桶胴の材料には杉の木や、さわらの木が使われています。 当たり前!?が正しいとは限らないのでは… もしかしたら現代の使い方や音の要望にはもっともっと適した 材料があるのではと、材料による音の違いを試してみる!と早速試作を作る事にしました(^^

右記写真。1つは従来の杉桶胴。もう一つは今回目をつけた桶胴。

日本の杉やサワラ材より寒い地域のもので、より密度が詰まっていて硬く 丈夫な材質。(今回はマル秘胴と呼びましょう)。早速出来上がってきた 胴を見て六代目はおもむろにバチを取り出し胴の中を叩き出します。

胴の形は同じでも材質が違うと、胴の硬さや響きは明らかに違いました。

これは今度こそ期待ができそうだ!!!



ということで今回も、いざ!!試し打ち!!!





そして今回も皮を組み上げ、いざ試打ちサウンドチェ ック!!結果はマル秘胴で試してみたところ、

材質が硬すぎるせいか担ぎ桶太鼓としては響きすぎ てしまうという結果に至りました(> <)

しかし、音の違いは確実に現れたのです!これは材料 を追求すればいつか必ず桶太鼓の胴にピッタリな材 料が見つかるはず!!まだ先は長いと六代目...究極の 音つくりへの道はまだまだ続くようです!!

結果として今回も納得のいく桶胴にはたどり着けませんでした(;_;)が、しかし!!! 今回試した硬い材質の桶は、担ぎ桶サイズでは響きすぎてしまいますが、逆に響きが欲しい、

響く事を求められる大きなサイズの太鼓にすれば、相性が良いのではないか!!!と、六代目の新たな野望が 生まれたんです!(^^)!失敗は成功のもと! 出会うことが出来たマル秘木材、無駄にはしません!

という事で、なんと!なんとマル秘木材で太鼓作ってしまいました。…太鼓作った!???

六代目のスピードと行動力に脱帽。新作太鼓すでに名前も決まって発売するそうです!(^^)! その名は!

裏面新着情報をご覧あれ(^^♪

警機、次回もおたのしみに!!

から今年もかります!三浦太鼓店東京展示会が14 おかざき匠の会三人展

今年もやります!東京展示会!(^^)! 今年で4度目の開催となります。毎年ほんとうにたくさんの方々にご来場いただきありがとうございます。実は、前回までの会場が閉鎖されてしまったため、今年は開催できないのかと諦めかけていました(>_<)

それでもなんとか続けたいと、必死で東京の街を歩いて探し回りました…そして! 見つけたのが今回の会場!!

今回も例年同様、おかざきの職人仲間である、和ろうそくの磯部さん、がら紡のファナビスさんと共に"おかざき匠の会"三人展として、開催します。











スペシャルLIVE会場!!

この会場地下にライブスペースがあるとの事!!

これはもしや、太鼓演奏ができるのでは!?

と、スペシャルライブを企画! 例年は展示のみだったのでせっかくなら 実際の生の音や、日々の職人としてのモノづくりへのこだわり、想いなどを伝え たいと、テーマ『江戸のふるさと岡崎の職人』と題しまして、3 社によるトークライ ブや和太鼓演奏を予定。

太鼓演奏ではゲストに東京で活躍される古立ケンジ、星野慎介のお二人を招き 当店より六代目、三浦史帆の4名で当店オリジナル太鼓などを使ってミニライブ を行います(^^♪

1年に1度、また今回は特別企画も満載のこの機会にぜひぜひたくさんの方々にご来場いただける とうれしく思います。 お気軽に遊びに来てください!!

《金場情報》

【会場】ラパン・エ・アロ 1F(B1F)

【住所】東京都渋谷区神宮前 5-44-2

TEL: 03-5469-2570

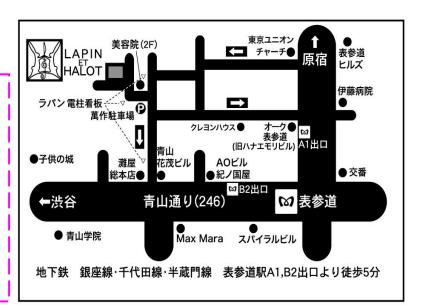
【**日時**】平成 26 年 1 月 10 日(金)、11 日(土)

・10 日(金)13:00~21:00 (地下 LIVE イベント 19:00~20:00)

・11 日(土)10:00~17:00

【お問い合わせ】

(株) 三浦太鼓店 TEL: 0564-21-2271



太鼓づくりvol.5



活きた和太鼓

太鼓の皮を張る作業には、太鼓に合わせて型を取る"仮掛け(かりがけ)"と、その型を取った皮を 実際に張り、鋲を打っていく"本張り(ほんばり)"の2工程があります。前回号では、仮掛け作業を 紹介させていただきました。今回は"本張り"の作業をご紹介いたします!

皮の張り具合を見極める



興打ち作業の機子

新しい皮は固く、まだ伸びきっていません。太鼓の音は叩くうちに伸び、音が低くなっていきます。皮を張る時点で張りの弱い低音にしてしまうと、叩いていくうちに皮が伸び、早い時期にまるでダンボールでも叩いているようなダバダバの皮になってしまいます。そうならないよう私たちは、伸びた状態を予測しながら、その時にちょうど良い音になるように皮を張っていきます。しかし、皮によって厚さや伸び具合が違います。すべての太鼓を同じ張り具合にしても、後々緩すぎたり張りすぎだったりしてしまうので、ここは今までの経験や感覚を頼りに、太鼓と向き合いながらその太

音

皮を張る際もう一つ大切なことがあります。それは、"お客様の求められる音"は何か?という事です。太鼓の音と一言で言っても使われる地域の特性や演奏スタイルによって音の感覚は様々。当店ではそんな一人一人のお客様のご要望に応えるべく努力をしています。

を

太鼓には "耳" がある!?

る届ける

皮を張る時に、クダを通している箇所を通称 "太鼓の耳"といいます。神社やお寺、お祭りで使 われる太鼓は多くの場合耳を切り落とします。しか し、現代の演奏で使われる太鼓は、将来音の再 調整が出来ることから耳を残すようになってきまし た。

太鼓を楽器として使う演奏者が多くなり、

和太鼓に求められることも、時代の変化によって変わってきているのです。私たちはお客様が求めている音を形にするべく、日々精進しております!次回からは、締太鼓の皮づくり紹介をしていきたいと思います!

是非、次回もお楽しみに(^-^)!!





おやじの夢。子供の頃、誰しも大人になった ら○○になりたいと夢を持っていたことでしょ う。おやじの夢は、パイロットになること!中学 では外交官!太鼓屋の後を継ぐことを意識 するようになったのは高校生の頃。

その頃、仕事は少なく生活の糧を得るのも大 変な状況でした。それでも地域のお客様の為 に太鼓屋をやめてはいけないと思うようになり ました。近年楽しみで使ってくださる方が増え て、この先もしばらくは続けていけそうです。 お客様に喜んで使っていただける太鼓づくり を目指して、頑張っていきます。 今年もよろしくお願い致します。

こんにちは!編集長の朝倉慶介です(^-^) 私たち三浦太鼓店、2014 年も活きた和太鼓の音 を届けられるよう、日々精進してまいりますので、 また新たな1年、よろしくお願い致します! さて、全く持って私事なのですが…この度!私、 朝倉慶介。めでたく結婚いたしました(> <) 12月22日に式を挙げまして、みなさまのお手元に この新聞が届く頃には、私新婚旅行でイタリアに 飛んでいることでしょう!! 楽しみです(^ ^;) まだまだ未熟な私ですが、これからも精進してま いりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよ ろしくお願いします m(_ _)m 次の太鼓店新聞は、4月を予定しております。 次号も是非、お楽しみに(^-^)!!

六代目こだわりの新作!その名も 打二六「Dan-Jiro」 新素材&製法による迫力のパワーサウンド!



圧倒的な存在感と広がるアンサンブルの可能性

詳しい情報は三浦太鼓店 HP にて!!

2014年3月30日(日) 第8回 桜まつり太鼓フェスティバル

今年も開催いたします!!岡崎・幸田で活動して いる太鼓チームが岡崎城二の丸能楽堂に集結。 朝から晩まで、一日中太鼓の音を響かせます! 1年に1度、桜の時期の太鼓の祭典。みなさま 是非、ご覧下さいませ(^-^)!!



場 所:岡崎公園内

岡崎城二の丸能楽堂

時 間:10:00頃~20:00

入場料:無料

お問合せ: ㈱三浦太鼓店

TEL:(0564)21-2271

<購読無料>

この新聞は不定期で発行しております。 購読ご希望の方は HP の三浦太鼓店新 聞請求フォームからご請求ください。

URLhttp://www.taikoya.net/sinbun.html

発行責任者:朝倉慶介 三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2

慶応元年創業

株式会社



TEL(0564)21-2271

FAX(0564)21-2272

E-mail info@taikoya.net

URL http://www.taikoya.net/

HP. SNS###













